

オープンキャンパス土木学会 2017 開催報告

会場のように



ふれあいフェスタ(液状化実験)



ふれあいフェスタ(アーチ橋模型)



ふれあいフェスタ(水面制御実験)



ドボ博



どぼくカフェ



どぼく七夕まつり

公益社団法人土木学会は 1914 年に創設され、今年度で 104 年を迎えています。創設以降、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的に様々な委員会活動や研究、取り組みを行ってきました。

このイベントは、本学会の長い歴史の中で初めて試みとして、学会関係者やその家族、土木分野への進学・就職希望者など、多数の方々を学会本部へお招きし、様々な体験型プログラムや映画鑑賞会、講演会等を通じ、『土木』への理解を深めていただく場を提供するものです。さらに、地域の方々と学会未入会の方々にも来場いただき、地域・社会に開かれた学会として有する知見や資源を社会へ広く還元・貢献していくことをめざしています。

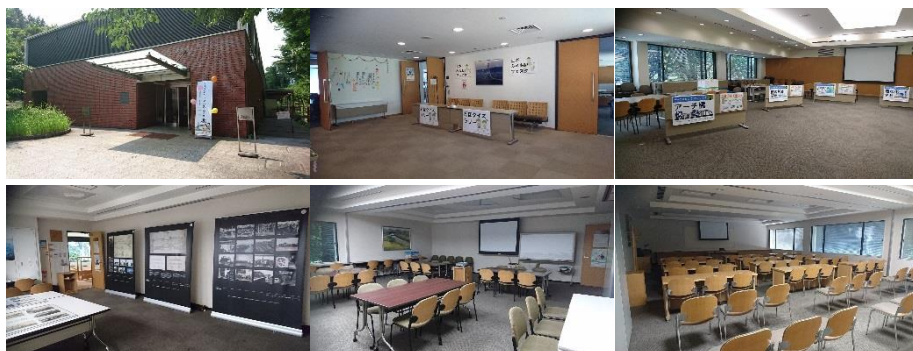
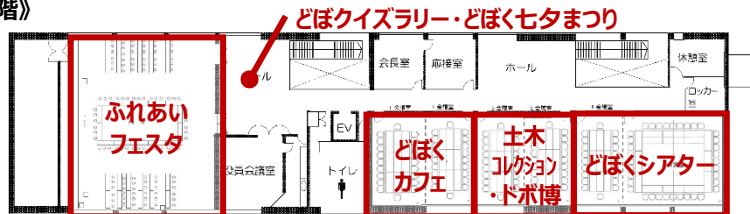
実施概要

- イベント名 ; オープンキャンパス土木学会 2017 ～くらしを支える土木～
- 開催日時 ; 平成 29 年 7 月 8 日 (土) 11:00 ~ 16:00
- 開催場所 ; 土木学会 (東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内)
- 主 催 ; 公益社団法人土木学会
土木広報センター/コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
- 協 力 ; 公益社団法人土木学会
地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会/構造工学委員会
/トンネル工学委員会/土木図書館委員会 ドボ博小委員会/関東支部

《1 階》

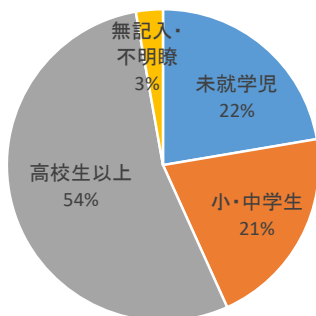


《2 階》

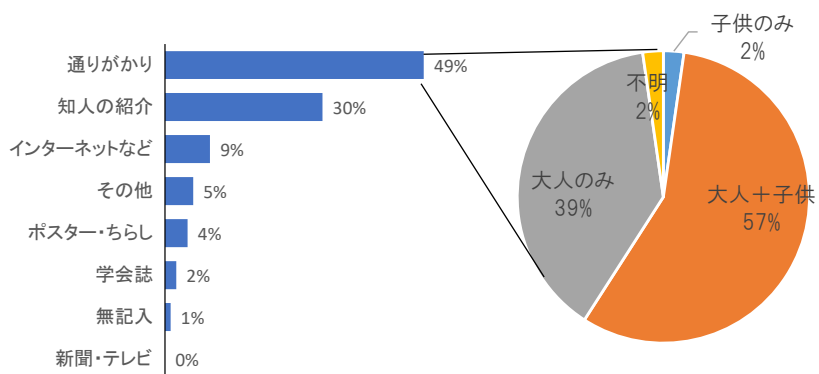


来場者へのアンケート調査結果

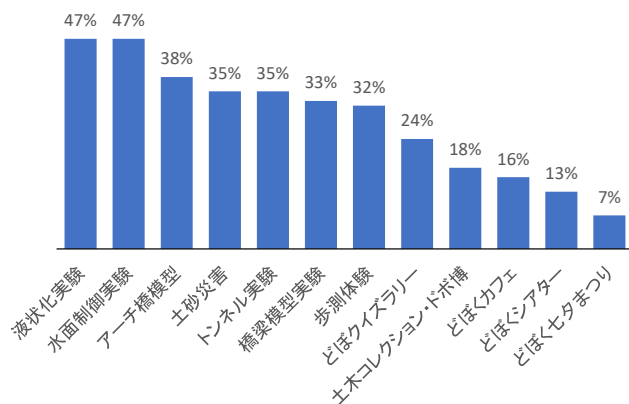
■ 来場者の年齢層割合



■ 来場者のきっかけ



■ おもしろかったプログラム（参加グループ別回答，複数回答可）



■ どぼく七夕まつりで挙がってきた「住みたい街」

（参加者が短冊へ記載）

- ・ きれいな川で泳ぎたい
- ・ 自然をよく理解し、自然災害に強い街
- ・ 日本の新幹線技術を海外に輸出したい
- ・ 安心して暮らせるまち
- ・ いまのまちがいい
- ・ 花のあふれるまち
- ・ 生き物がたくさんあふれている町
- ・ 走りまわれる広場がほしい
- ・ 空気のキレイなまち
- ・ 子どもたちが安心して暮らせるまち ストレスフリー
- ・ 楽しく渡れる橋のある街

など

■ 自由意見（一例）

- 普段の生活で**土木がとても大切な役割**をしていました。自然に立ち向かってきた人はすごいと思った。／10代女性（小学生2人、高校生以上/大人1人）
- 今まで「**土木＝力強いけどこわそうなおじさん**」というイメージを小さい頃よりもったままでしたが、**今回のイベントで一新**しました。是非3歳の息子にもこの土木の面白さを知り、成長したときに社会に役立つ仕事についてほしいと感じました。本当にありがとうございます。／30代女性（未就学児1人）
- 楽しく勉強できました。**父親の仕事**がどんなことをしているか子供たちにも少し分かったかな？と思います。今後もまた参加してみたいです。／40代女性（未就学児1人、小学生1人、高校生以上/大人1人）
- 小学生には少し難しい言葉もありましたが、楽しんでいたのでよかったです。／40代女性（小学生1人）
- **この会館**の横をいつも通っていて中が**どうなっているのか**気になっていました。CAD（機械）をやっていたので土木にも興味がありました。もっと広く宣伝し、このイベントに足を運んでもらいたいです。／30代女性（未就学児2人）
- 土木学会 HP で告知してほしい。**高校・大学向け**の数学・物理を使用した内容も展開してほしい。／50代男性
- 理由云々ではなく、見て理解させる方法はとても良いアプローチですね。**土木をこえて科学として**もっと宣伝して良いと思います。／50代男性

